

やわたはま

# 議会だより

発行

八幡浜市議会

編集

議会だより編集委員会

平成 22 年 8 月 1 日

vol. 21



前田山記念すもう大会

## 6月定例会

平成22年6月八幡浜市議会定例会は、6月14日に開会し、16日間の会期で6月29日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告3件、諮問1件、同意案1件、条例案6件、予算案4件、その他5件、計20件が上程され、原案のとおり同意・可決されました。

また、5月20日開催の八幡浜市議会臨時会では、報告6件、予算案1件、その他2件、計9件が上程され、原案のとおり承認・可決されました。

# 一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をいただきました。その主な質問、答弁の要旨を掲載いたします。

## 一般質問者

上田 久子 藤 素子 石 崎 正 治 清 水 功 次 岩 井 和 浩 大 山 政 司 二 宮 雅 男 魚 崎 清 則

(注)掲載した順序と一般質問者(発言順)は一致しません。

## 市長マニフェストの検証

**問** 昨年4月、ローカル版マニフェスト6項目を

掲げ、大城市政はスタートし、15カ月が経過したが、市長はマニフェストに対して、どう評価しているか。

**答** 昨年4月の市長選挙に立候補するに当たり大

きく6つの項目をマニフェストとして掲げた。

その中でも、市立八幡浜総合病院の安全・安心の確保、具体的には「直ちに医師3名の確保」を重点マニフェストとしたところである。

この市立病院の医師不足の問題については、議員各位を初め市民の皆様に変なご心配をおかけしたわけであるが、愛媛県、愛媛大学を初め関係各位のご理解とご協力により市立病院内に愛媛大学の地域救急医療サテライトセンターが設置され、さらに本年4月から3名の医師が着任した結果、救急受け入れの一部再開や内科の受診制限を一部解除するなど、明るい兆しが見えてきたところである。

今後も、医師を初め医療関係者に過重な負担をかけることのないよう十分留意しながら、一日も早く地域医療の充実に向け最大限の努力をして

いきたい。

八幡浜港振興ビジョンの見直しについては、マニフェストでは、このビジョンを抜本的に見直し、基本的にゼロからの再スタートとした。

これは、市の厳しい財政状況の中で130億円という巨額な投資が将来への重いツケとなる懸念を払拭できなかったためである。

市長に就任以来、庁内だけでなく、市民の方々や関係団体のご意見も伺いながら、整備実行委員会からの答申も踏まえ、交流施設や関連施設に関する検討を進めてきた。

その結果として、この港湾振興ビジョンは、商業、農林水産業を初め、さまざまな産業分野、行政分野への波及効果を生む可能性を秘めたものであり、市勢浮揚を図るためには、必要な施策であると認識をしている。

今後とも、市役所内部の関係各課にわたる連携を十分に図っていくことはもとより、多くの市民の方々の意見に耳を傾けながら具体化に向け、作業を進めていきたいと考えている。

行財政改革の推進については、昨年4月の就任以来、自分自身の退職金の廃止や給料

カット、職員数の削減、課の統廃合など進めてきた。

今後は、本年2月、外部の意見を取り入れながら策定した「第2次行政改革大綱、推進計画」に基づき着実に進めていきたいと考えている。

具体的には、定員適正化計画に基づく職員数のさらなる削減や補助金の見直し、保育所、小・中学校の統廃合について取り組んでいく。

その他のマニフェストについても、今後関係者や市の財政状況と相談しながら、鋭意取り組んでいくつもりである。

## 基金の状況

**問** 平成21年度、八幡浜市基金約37億円の半額、

約17億円が財政調整基金と減債基金であり、その目的は、財政が著しく不足する場合や市債の償還の財源に充てる基金であり、その他の基金は使途目的が定められた利息消化(果実運用)型基金である。

そこで、財政調整基金と減債基金の活用について、一般会計における適正な金額はどのくらいか、伺いたい。

**答** 一般会計における財政調整基金の適切な額は、一般的には標準財政規模の10%

〔5月臨時会〕

5月20日

本会議 議案の上程

提案理由の説明

質疑・討論・採決

〔6月定例会〕

6月14日

本会議 議案の上程

提案理由の説明

6月17日 本会議 一般質問(5名)

6月18日 本会議 一般質問(4名)

6月21日 本会議 議案に対する質疑

6月22日 委員会

総務委員会

民生文教委員会

産業建設委員会

6月29日 本会議

委員長報告

討論・採決

程度と言われており、その程度の基金があれば、経済情勢の変動等により財源が著しく不足する場合にも対応できるとされている。

当市においては、平成20年度における標準財政規模は114億5千万円で、平成20年度末の財政調整基金の額は11億1千万円で9・7%となっている。減債基金については、将来

### (一般質問のすべての質問事項)

- 子供の健全育成と家庭と学校教育について
- 市長の政治姿勢について
- 安心して暮らせるまちづくりについて
- 農林漁業の振興策について
- 随意契約と公共入札について
- 農水産業の振興について
- 道路拡幅に伴う公衆浴場存続問題について
- 子宮けいがんワクチン接種公費負担のあり方について
- 学校問題について
- 港湾漁港について
- 市立八幡浜総合病院について
- 市営住宅について
- 市行政における事業評価について
- 八幡浜港について
- 環境問題・ネオニコチノイド系農薬について
- ケーブルテレビの活用について
- 環境美化について
- 国政に対する市長の政治姿勢について
- 学校給食について
- 八幡浜市基金の状況について
- 市営納骨供養塔の設置について
- 市長のマニフェストの検証と具体策について
- 職員の不祥事について
- 高齢者外出支援事業について
- 農業振興について
- 生活改善について
- ゴミ袋として、米袋、肥料袋の資源として活用出来ないか

※一般質問の詳細な内容は、会議録及び市議会ホームページでご覧になれます。

問 政権交代により、子ども手当や高校授業料無償化が実施されているが、奨学金と西村奨学貸付基金について、今後の見通しについて、伺いたい。

答 八幡浜市育英奨学資金や西村奨学資金は、経済的理由により修学困難な高

問 家畜伝染病、口蹄疫について、宮崎県の感染の広がり、一時下火になるかに見えたもののさらに広がる

答 今回の口蹄疫について、愛媛県では、関係畜産農家の畜舎の消毒のため、消石灰の配布、三崎、八幡浜、松山の港で車両の消毒などを

問 口蹄疫

答 今回の口蹄疫について、愛媛県では、関係畜産農家の畜舎の消毒のため、消石灰の配布、三崎、八幡浜、松山の港で車両の消毒などを

実施しているところである。今般、さらに噴霧器を使用した全車両の消毒を検討しているところである。

市としても、7月から港での消毒に職員10名程度を交代で派遣し、協力をしていく予定である。

また、家畜農家9業者に対し、6月2日、3日に消石灰を配布し、畜舎の出入り口などの散布をお願いしたところである。6月15日には、県下の担当者会議が開催され、今後さらに対策を進めていくこととなっている。

### 子宮頸がんワクチン助成

問 子宮頸がんという病名とそれに対するワクチンについて、最近よく新聞紙面等でも目にします。

答 子宮頸がんの予防及び早期発見を行うことは、

### 答

安心・安全なまちづくりを目指す当市としても、いち早く独自の公費助成をする考えはないか、伺いたい。

特に20歳から40歳代の女性の健康問題の大きな課題である。議員指摘のように、子宮頸がん発症率の高いヒトパピローマウイルス16型、18型に対するワクチンが承認されている。性的接触による感染を受ける前にワクチンを3回接種することが有効と言われ、小学校6年生から中学生女子へのワクチン接種の助成を行う自治体も全国的に数カ所見られる。

問 環境美化

答 広域ごみの受け入れ施設を持つ当市に環境美化条例が制定されていないのは大きな問題ではないか。また、条例制定には時間が必要であるが、ごみのポイ捨て

また、ヒトパピローマウイルスワクチン接種については、予防接種として安全に接種できる体制や財源の確保など、実際に公費負担をする場合の課題があるが、前向きに検討しているところである。

てに対する罰則規定について、検討をしてはどうか。

**答**

ごみのポイ捨て禁止条例については、いまだ未設定の状況である。

昨年6月から11月までの半年間、緊急雇用創出事業により2名を採用し、ごみの不法投棄パトロールと回収に努め、啓発を行ってきたところであるが、一部の不心得者による不法投棄は後を絶たず、大変苦慮しているのが現状である。

このような状況の中、市広報等による啓発等にも限界を感じており、空き缶のポイ捨て等も含め、環境美化条例の制定に向け、着手をしていきたいと考えている。

**問**

エコ問題、エコ活動が国をあげて、社会全体の関心事となっている現在だけに、当市においても、環境美化推進委員を各地域に置くことを検討してはどうか。

**答**

現在さまざまな団体において自主的に環境美化運動に取り組んでいただいております、市としてまず感謝を申し上げたい。

自主的な道路や河川等の清掃活動の促進、ごみの散乱や不法投棄の監視、ごみ出しや分別の指導等をより効果的に進めるためには、地域に精通



した住民による環境美化推進体制の整備が望まれる。このような現状を踏まえ、本市においても、公民館などの協力をいただくことを念頭に環境美化推進員の設置を検討していきたい。

**公共事業の実績評価**

**問**

現在では、公契約条例を制定し、下請や労務条件など厳しく監視する自治体が増えているようである。契約した後は業者任せでは、不当な働かせ方がまかり通っていたり、それが原因で抜き工事の後々大変な問題を起こすことなども懸念されている。市として、きちんと事業を見届け、評価されているか、伺いたい。

**答**

当市発注の工事については、「八幡浜市工事検査規程」、「八幡浜市建設工事成績評定要領」に基づき、専門の工事検査員が検査、評価を行っている。

従業員の労働条件や下請等の確認については、請負業者の従業員に対し、「建設業退職金共済制度」の加入状況の確認の実施、下請においては、「市工事における下請け違約の適正化についての要領」に基づき報告を求め、違法な下請が行われることのないよう確認を行っているところである。

今後、手抜き工事等が発生しないよう、適正な検査を実施していく。

**農免農道**

**問**

八幡浜市総合計画の中で農免農道について記載されている。先の政府の事業仕分けで農免農道について廃止の方向が示され、当市において今後どうなるのか、心配するところである。

平成22年から24年にかけて国庫支出金が計上されているが、今後の進展について、伺いたい。

**答**

農免農道は、当期4期に分割して採択され、



農免農道

平成21年度末で全延長の70%に当たる約5キロが完成している。あと2・4キロが残っており、昨年度、農道整備事業は、政府の事業仕分けで廃止の判定を受け、今後の事業進捗が危惧されたものの、新たに創設された農山漁村地域整備交付金等により事業継続されることとなり、本年度も2億4千万円の予算が確保される見込みと聞いている。

近年の厳しい予算状況や地形的にも厳しい区間の施工が続くことから、当初計画の平成24年度の完了は厳しいと聞いているが、今後、全線の早期完成に向け、県と協力を図りながら事業の確実な進捗を図っていききたい。

**ネオニコチノイド系農薬**

**問**

ネオニコチノイド系農薬について、世界中でいろいろと問題が起っている。日本一のミカンの町のイメージ保全のためにも、安全確認をどうしているのか。また、市民の皆様や農家の方の健康管理、安全のために情報対策はどうするのか、伺いたい。

**答**

議員指摘のように、ネオニコチノイド系農薬については、いろいろと問題が指摘をされている。有機リン系の農薬にかわって十数年前から広く使用されるようになっており、当市においても、かんきつの病虫害駆除に使用されている。

安全性については、JAにおいて防除暦を配布する方法により、農薬取締法に基づく登録農薬の使用、安全使用基準に基づく使用を指導していただいている。

かんきつのアザミウマなどの被害も深刻であり、現在これらの農薬は登録農薬であり、その使用については市単独でどうするということにはならないが、今後、JAや県等の連携を図りながら情報の収集に努めていきたいと考えている。

生活改善

問 保内地域において、公民館単位で、冠婚葬祭の生活改善について検討しては、どうか。

答 生活改善運動については、戦後、全国の婦人会や青年団が冠婚葬祭の簡素化や衣食住の合理化に取り組み、その中で虚礼廃止等を目的として、香典返し、花輪などの廃止、自粛、制限が申し合わされたものである。

しかし、戦後復興期から高度経済成長期を経て、その姿も変容しているところである。保内地域の公民館で生活改

議会を傍聴してみませんか

市議会では、毎年3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と必要に応じて臨時会を開きます。

市議会の本会議は、事前の申し込みの必要はなく、傍聴することができます。

傍聴席は、八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口に、受付簿を置いてありますので、氏名、住所を記入の上、傍聴してください。

会議の内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として、会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページにも掲載しております。

学校施設の耐震化

問 学校施設の耐震化について、平成23年度で全

善運動の展開をとのことであるが、生活改善運動については、それぞれの地域において、その生活観の中で展開され、普及していくものと思っっている。公民館には、地域住民の主体的、自主的な活動を展開していただきたいと考えており、法規に定めのない市民の生活様式について、市全体の公民館の事業として取り組むことについては、現在の状況では困難ではないかと考えている。

答

平成22年度の文部科学省の予算は大変厳しいものとなっている。国は「公立学校施設の耐震化等の推進」を引き続き、重点施策の一つに位置づけ、地震により倒壊の危険性があるものうち、耐震性の低い施設の耐震化を優先的に実施することとしている。

当市の学校耐震化の現状は、非木造建物56棟のうち、旧耐震化基準の建物39棟について耐震診断を行っており、平成22年4月1日現在の耐震化率は58・9%、今後改修の必要のある棟数は23棟である。このうち、特に耐震化が急がれる耐震指標I s値0・3未満の建物は、平成21年度繰越事業の真穴中学校、松柏中学校、八代中学校屋内運動場、今年度実施設計、平成23年度に工事を計画している白浜小学校体育館と喜須来小学校校舎の5件であり、この5件の耐震化が済めば解消できる予定である。

I s値0・3以上の建物に

弁当の日

問

約10年前から、全国の小・中・高のほか大学や海外の日本人学校でも弁当の日が導入され、これまでに39都道府県で約600校が実施していると聞いている。子供は親に感謝し、親も子供の成長に気づく等、家庭のきずなを強める効果があり、家庭の食生活が変わったという実例が多くある。

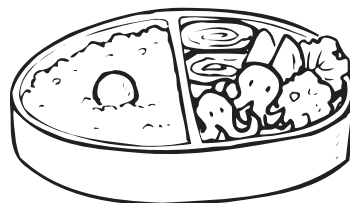
そこで、小・中学校において弁当の日をつくる考えはな

答

当市においては、江戸岡小学校を中心として、平成19年度から3カ年、文部科学省委託「子どもの健康を育む総合食育推進事業」の研究実践に取り組んできた。今後も食育推進のための地道な教育活動を各学校において継続していく。

さらに、食事をともに作るなど、家族の一員として手伝いを奨励する中で親子のきずなを一層深めたり、人や食に対する感謝の心をはぐくん

議員指摘の親子でつくる「弁当の日」の設定や導入については、校長会や市のPTA連合会と相談をしながら、検討していきたい。



学校給食

問

学校給食での食材の地産地消について、県内の市町の間では大きな開きがあると聞いている。

当市の地産地消率は25・9%、愛媛県で一番高いのは松前町で46・6%、当市は下から2番目に低い数字になっている。そこで、食材の調達は安定的で安価であるという条件が必要であるが、地元農協と市場と連携し、地元産物を使う考えはないか。

答

現在、当市の学校給食センターでは地産地消を推進するため、納入業者に

対して八幡浜産のものがあれば優先して仕入れするようにお願いをしている。しかしながら、当市は、果樹栽培が中心であり、野菜類については量も少ないのが現状である。そのため、かんきつ類のほとんどが八幡浜産であるのに比べ、野菜類はほとんどが市外、県外産となっている。

なお、保内学校給食センターについては、磯津の野菜出荷組合や川之石高校から、全体の1割程度ではあるが、野菜を購入し、学校給食に使用している。

今後、地元農協や漁協、市場あるいは生産加工業者との連携が可能な検討を行うなど、少量であっても、積極的に活用していきたいと考えている。

**問** 給食食器の安全性について、八幡浜給食センターはポリカーボネート、保内給食センターはPEN食器であるとのことであるが、ポリカーボネート製容器にはBHT等の酸化防止剤が使われているので、油脂性の食品を入れるとBHT等の酸化防止剤が移行するとされている。学校給食食器として安全性に全く問題はないか、伺いたい。

**答**

議員指摘のポリカーボネート製食器の安全性であるが、環境ホルモンの一種であるビスフェノールAが溶出すると言われている。このビスフェノールAの溶出許容量は、国の基準値が定められているが、溶出量はこの基準値よりはるかに低いレベルであり、直ちに使用禁止等の措置を講じる必要はないというのが国の見解である。

保内給食センターで使用しているポリエチレンナフタレート(PEN)製は、厚生労働省告示第201号の検査に適合し、安全性にすぐれている特徴を有している。

新給食センターでの使用食器について、児童・生徒の安全性、使いやすさ及び経済性を考慮し、ポリカーボネート以外の製品の中で選定していきたいと考えている。



八幡浜給食センターで使用している給食食器

# 委員会のいろいろ

今定例会に提出され、3常任委員会に付託された案件15件についての審査が行われました。その主な内容は次のとおりです。

## 総務委員会

### ▼一般会計補正予算(歳入)

**問** 一般的に歳入補正予算の計上の仕方について、基本的な考え方を伺いたい。

**答** 歳入の予算計上に当たっては、正確な歳入の捕そくということが必要になってくる。

今回、補正予算で、計上している国庫補助金、県補助金、市債の財源組み替え等については、当初予算段階では確定していなかったもので、今回確定したものを予算計上している。

### ▼一般会計補正予算(補助金 検討委員会委員報償金)

**問** 補助金の見直しに当たっては、事務局の姿勢が非常に大きな影響をもつと思われるが、事務局の考えを伺いたい。

## 答

今年度は、まず団体運営補助金として50万円以上交付している補助金について、見直しを行う。

見直しに当たっては、今までなかなか着手ができなかったような部分についても、差別化せず、すべて一律に同じ考え方で、テーブルの上に乗せ、議論をしていただくというのが、事務局の基本的な考え方である。

### ▼地方債の補正

**問** 地域総合整備資金貸付事業債に関し、利率は年4%以内となっているが、実際の利率及び償還年限は、どの程度となるのか。

また、合併特例事業債の限度額を4千410万円増額しているが、合併特例事業債に関し、発行可能額と現在までの発行額について、伺いたい。

**答** 地域総合整備資金貸付事業債の借入利率につ

いては、年1・7%程度、償還年限は15年以内の貸付先が望む期間としている。

合併特例事業債については、事業に対する充当率95%で、発行可能額は約104億5千万円。発行額は、20年度末で約27億6千万円、21年度は、まだ確定はしていないが、5億円程度利用している。

## 民生文教委員会

### ▼火葬場条例の一部を改正

**問** 今回の条例改正は、八幡浜市火葬場の管理を指定管理者に行わせることができるように所要の改正を行うとのことであったが、指定管理者制度にするメリットは何か、伺いたい。

**答** 今後、八幡浜市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例に基づいて準備を進めていくが、今、試算している段階では、現在の業者委託料と比較して安くなると考えている。

### ▼一般会計補正予算(予防費 委託料)

**問** 日本脳炎の予防接種を再開するために増額補正ということであるが、どのような方が、対象者となるのか。

**答** 日本脳炎の予防接種は、3歳から7歳半までの間に合計3回の接種をすることで基礎免疫をつけることになっている。

今回は、中止期間の未接種者等へ計画的に接種を行うため、3歳になった子供と、保育所等の年長児を対象としている。

**▼一般会計補正予算(大学女子学生ソフトボール大会開催補助金)**

**問** 以前は、大会役員の旅費や宿泊費を出していたと聞いていたが、最近は一切出していないのか。また、大会には県内のチームは何チームぐらい参加するのか。

**答** 旅費として計上しているのは1万円である。スポーツ医派遣の交通費というところで、医師の送り迎えをするタクシー代として使用しているだけである。

大会には、現在、大阪国際大学など9校が参加予定の表明を頂いているが、その中で県内のチームは愛媛女子短期大学の1チームだけである。



**産業建設委員会**

**▼一般会計補正予算(水産振興計画策定調査研究委託費)**

**問** 平成25年に八幡浜市沖新田地区に開設予定の高度衛生管理型魚市場や港湾交流施設を有効活用するため、愛媛大学と連携して、低迷する水産業の再構築を目的に、「八幡浜市水産振興基本計画」を策定する予定とのことだが、この計画は、いつ頃出されるのか。

**答** 現在の予定であるが、本年度、基本計画策定検討委員会を発足させ、そこで検討を行い、来年の3月までに、基本計画をまとめたい。

**▼一般会計補正予算(種子島周辺漁業対策事業費補助金)**

**問** 今回の補助金は、八幡浜漁業協同組合に対し、製氷貯氷施設的设计委託費の一部を補助とのことだが、製氷貯氷施設の全体事業費はいくらか。

**答** 製氷貯氷施設の予定全体事業費は約4億5千万円である。

**問** この製氷貯氷施設について、本年度、施設的设计を行うとのことであった

が、施設の建設はいつ頃になるのか。

**答** 魚市場建設と合わせて、平成23、24年度の2カ年を予定している。

**▼一般会計補正予算(八幡浜ちゃんぽんPR)**

**問** 現在、愛媛県内や全国に八幡浜ちゃんぽんを宣伝されて、それによりお客様が増えていると思う。今後、味やサービスの研究、顧客の新規獲得など、各ちゃんぽん店の努力も必要だと考えるが、所見を伺いたい。

**答** 行政がこういった運動を展開するには、限界があると考え。それで、現在の効果を持続させるためには、業界の意識付けが重要であると考える。そのため、業界に対し、アンケートを実施し、今後の取り組みについて、どのような方向性を持って、お互い協力していけるか、考えていきたい。



**5月20日臨時会 審議結果**

番号	件名	審議結果
報告第2号	専決処分の報告について(平成21年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第4号))	原案承認
第3号	専決処分の報告について(平成21年度八幡浜市一般会計補正予算(第7号))	〃
第4号	専決処分の報告について(八幡浜市市税条例の一部を改正する条例の制定について)	〃
第5号	専決処分の報告について(過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	〃
第6号	専決処分の報告について(八幡浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	〃
第7号	専決処分の報告について(八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	〃
議案第51号	八西地域情報基盤整備推進事業センター施設設備整備工事請負契約の締結について	原案可決
第52号	八西地域情報基盤整備推進事業伝送路幹線工事請負契約の締結について	〃
第53号	平成22年度八幡浜市一般会計補正予算(第1号)	〃

**6月定例会 審議結果**

番号	件名	審議結果
報告第8号	平成21年度八幡浜市一般会計繰越明許費繰越計算書	報告

番 号	件 名	審議結果
報告第 9 号	平成 21 年度八幡浜市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告
第10号	平成 21 年度八幡浜市一般会計事故繰越し繰越計算書	〃
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ～ 候補者 生玉千枝美氏	異議のない旨答申
同意案第 1 号	教育委員会委員の任命について ～ 候補者 國分美由紀氏	原案同意
議案第54号	新たに生じた土地の確認について	原案可決
第55号	字の区域の変更について	〃
第56号	八幡浜市公共下水道八幡浜浄化センターの建設(汚泥再構築)工事委託に関する協定について	〃
第57号	八幡浜市公共下水道保内浄化センターの建設工事委託に関する協定について	〃
第58号	財産の取得について	〃
第59号	八幡浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第60号	八幡浜市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第61号	八幡浜市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第62号	八幡浜市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第63号	八幡浜市地域活性化基金条例を廃止する条例の制定について	〃
第64号	八幡浜市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第65号	平成 22 年度八幡浜市一般会計補正予算 (第 2 号)	予算額 445,238 千円 追加
第66号	平成 22 年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)	予算額 7,530 千円 追加
第67号	平成 22 年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	予算額 1,250 千円 追加
第68号	平成 22 年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	予算額 5,470 千円 追加

## 議会日誌 (H22.3.19～H22.6.13)

### 【委員会活動状況】

#### 〔4月〕

21日 議会運営委員会協議会開催

#### 〔6月〕

7日 議会運営委員会開催

### 【庶務関係】

#### 〔3月〕

19日 八幡浜地区施設事務組合議会定例会出席

25日 伊方原子力発電所環境安全管理委員会出席

29日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会出席

#### 〔4月〕

7日 愛媛県市議会議長会春季定期総会出席(西条市)

27日 平成22年度愛媛県市長会春期会議出席(当市開催)

#### 〔5月〕

10日 第72回四国市議会議長会定期総会出席(高松市)(～11日)

13日 全国自治体病院経営都市議会協議会第38回定期総会出席(東京都)(～14日)

14日 第21回四国西南サミット出席(四万十市)

25日 第86回全国市議会議長会定期総会出席(東京都)(～27日)

## 議員表彰

5月10日に開催された四国市議会議長会定期総会並びに5月26日に開催された全国市議会議長会定期総会において、市政の発展、振興に努められた功績に対し、次の方々が表彰を受けられました。

### 〔四国市議会議長会表彰〕

議員在職16年以上 宇都宮 富 夫

議員在職12年以上 中 岡 庸 治

議員在職8年以上 清 水 正 治

二 宮 雅 男

魚 崎 清 則

### 〔全国市議会議長会表彰〕

議員在職15年以上 松 本 昭 子

上 田 竹 則

議員在職10年以上 住 和 信

兵 頭 孝 健

※議員在職年数とは、市議会議員在職年数に合併前の保内町議会議員在職年数の2分の1を加算した年数

### 編集後記

「議会だより」第21号をお届けします。

ゆっくり目を通してください。

「議会だより」について、ご意見をお願いします。

議会事務局 TEL(代)22-3111